

## 「香港中文大学サマースクール参加報告書」

京都大学経済学部・2年 志賀琴乃

## ① 学習効果

このプログラムに参加したことで中国語力は確実に上がった。私は今年度から中国語を始めたので下から二番目のクラスだったが、初めて知る文法事項も多く、また、話したり書いたりして中国語を用いるチャンスをもたらしたため、実用的な会話を身に着けることが出来た。また、三週間強という期間過ごしたことで、普通の旅行や観光では見ることのできないものを見ることが出来て良かった。これらの経験はこのプログラムに参加したからこそ得られた経験だと思う。

## ② 海外経験

渡航する以前に予想していたほどのカルチャーショックはなかった。行ってみて分かったことだが、香港の人は比較的日本人に似ているところがある。我々は香港というと、長らく英国の支配下にあったという歴史から西洋的な場所を想像し、他のアジア諸国より文化的に異なった部分があるのではないかと考えがちだが、そんなことはなかった。街の風景や文化的な風習などは日本と全く異なるが、根本的な部分には日本と似た部分も多くある。それらのことは同じく香港に来ていた西洋人と話して実感できたもので、非常に興味深いものだった。

## ③ プログラム内容

この「香港中文大学サマースクールプログラム」では、香港中文大学で中国語の普通語の授業を三週間受けた。授業は午前9時30分から12時15分まで午前の授業、午後2時30分から4時15分まで午後の授業が秀5日提供された。私のクラスは基本的な日常会話を主として行った。具体的には、自分の予定・好き嫌い・道案内などの題材について勉強した。授業では自主的な参加が求められ、先生の言ったことを繰り返すのみではなく自分で考えた題材についても発言する機会が多く与えられた。日本の授業よりもスピーキング・リスニングが重視されたため、それらの練習をするのにはとても適切な内容だった。

## ④ 進路への影響

進路への影響は特にはない。私は現在まだ進路を決めておらず、将来進路を決定するために必要な知識・経験を得るために参加したため、まだすぐに進路へ影響が出るものではないと思う。

ただ、香港という歴史的にも文化的にも大変特な地で長期間過ごすのは大変興味深い経験であった。以前に持っていたイメージと同じ部分や、逆に全く異なって驚いた部分などをじっくり考えることが出来る良い機会だったと思う。また、他の参加者と話せたのも良い経験だった。いつか進路を決定するとき、今回の経験を大切な判断材料の一つにしたい。